

平成 28 年 6 月 27 日

内閣総理大臣
自由民主党総裁
安倍 晋三殿

民進党代表 岡田 克也

党首討論開催の申入れ

日々のご精励に敬意を表します。

さて、参議院選挙に向けたテレビ各局の各党党首討論会が一巡しました。しかし、公示後の討論会は6月24日に行った1回のみで、今後7月10日の投票日までの2週間、党首討論の機会は一度も予定されていません。

前回（2013年）の参議院選挙では公示後に4回、前々回（2010年）も公示後に4回、党首討論会を行っています。公示後1回、しかも投票日の2週間以上も前というのは、近年例のない異常な事態です。

議論すべき課題は山積しています。しかし残念ながら、これまでの党首討論会で議論が深まったとは到底言えません。そこで、私は、公開の党首討論を我が党と御党合同で開催することを貴総裁に提案します。経済と憲法を中心に、1時間ないし2時間、フルオープンで徹底的に議論しようではありませんか。いついかなる日程でも私は応じます。二党のみで開催することに差し支えがあれば、他党に呼びかけることもやぶさかではありません。

国民・有権者の前で、党首同士が国政の重要課題について徹底論議し、投票の判断材料を提供することは極めて重要であり、民主主義の基本と言っても過言ではありません。特に、今回の参議院選挙は18歳、19歳の若者たちも初めて投票に参加します。選挙戦でご多忙であることは重々承知していますが、党首討論の趣旨及び意義をご理解の上、私の提案をご承諾いただけることを期待しています。

なお、投票日までの日程が限られていることに鑑み、明28日中にご回答願います。

以上